

麦作技術情報 No. 4

令和2年5月12日
鳥取県産米改良協会

- 令和2年産麦の収穫予想は、平年に比べて9日程度早まっています。
- 今後の気象によっては、収穫適期もさらに早まることが予想されます。
- 播種が早いほ場から順次収穫を行うなど、適期収穫を励行しましょう。

○農作業安全を徹底しましょう

・ほ場や農業機械の安全点検、熱中症の防止を図りましょう。

○適期収穫と適切な乾燥調製

- ・令和元年播種麦は、高温の影響により、生育が早まった(幼穂形成期:16日早、出穂期:20日早)。出穂後4月は低温で経過したが、5月の気温は高く登熟は順調であり、収穫適期は早まると考えられる。
- ・遅穂が多い傾向であることから、収穫期の判定は慎重に行うこと。
- ・品質を大きく左右する適期収穫が出来るかどうかが高品質麦生産の鍵を握るので、収穫適期の見極めと、適切な乾燥調製を徹底すること。

I 天気概況

1 現在までの気象状況

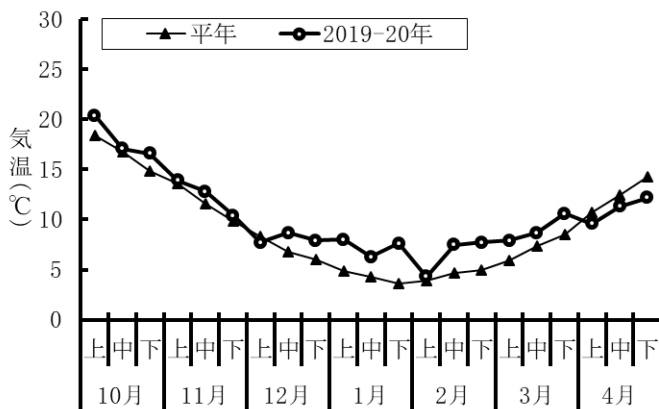


図1 2019-2020年日平均気温(倉吉市)

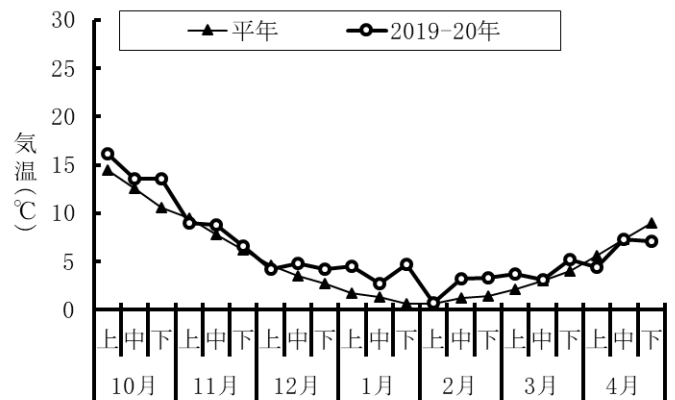


図2 2019-2020年日最低気温(倉吉市)

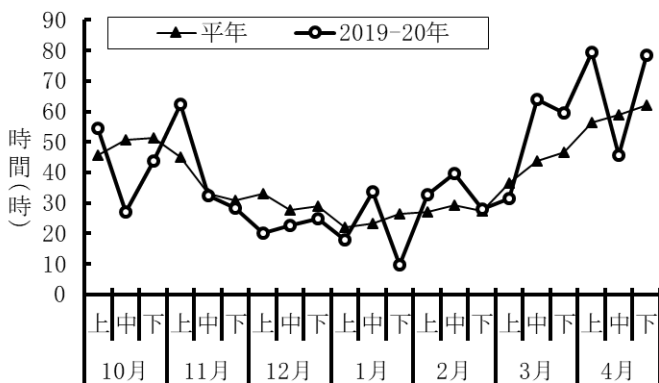


図3 2019-2020年旬別日照時間(倉吉市)

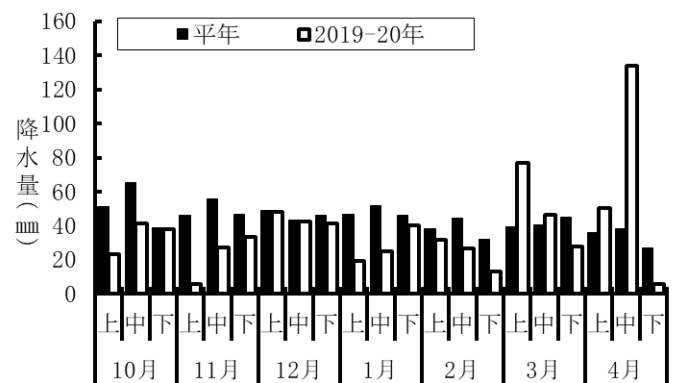


図4 2019-2020年旬別降水量(倉吉市)

麦出穂後の4月の気象は、平年に比べて、降雨が多く(平年比 189%)、低温(平年比-1.4°C)、日照時間はやや多く(平年比 115%)経過した。

2 天気予報

中国地方 1か月予報 (5月9日から6月8日までの天候見通し)

令和2年5月7日
広島地方気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

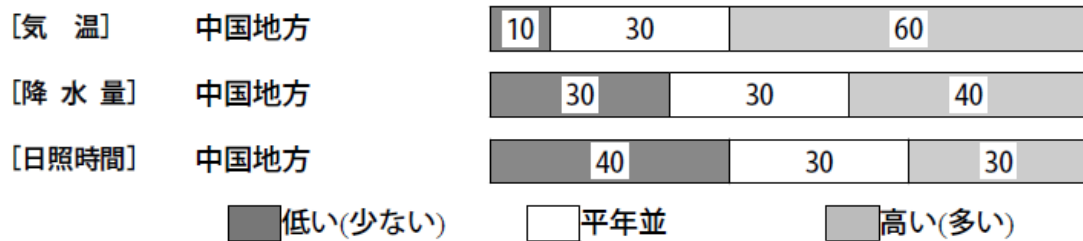
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

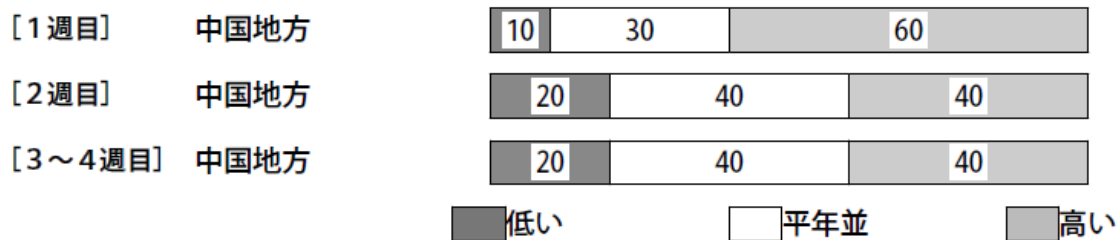
向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



<気温経過の各階級の確率 (%) >



<予報の対象期間>

1か月 : 5月9日(土)～6月8日(月)
1週目 : 5月9日(土)～5月15日(金)
2週目 : 5月16日(土)～5月22日(金)
3～4週目 : 5月23日(土)～6月5日(金)

II 生育概況

1 二条大麦

○農業試験場

- ・農業試験場の11月上旬播種の「しゅんれい」は、播種後3ヶ月まで茎数は少なく推移したが、播種後4ヶ月には平年より多くなった。
- ・暖冬の影響で、2月下旬に出穂始めを迎えたが、出穂始め以降に出穂がばらつき、出穂期は3月21日となった。
- ・穂揃い期は3月26日と判定したものの、穂数は平年の5割程度と極端に少なく、穂揃い期以降の遅穂発生が懸念された。
- ・倒伏は見られていない。
- ・穂ばらみから出穂期にかけて、積雪を伴う低温の影響で不稔がやや多かった。
- ・出穂後防除は適期に実施し、網斑病の発生は抑えられていたが、低温の影響で、黒節病がわずかに散見された。

○現地ほ場

- ・例年がない暖冬の影響で出穂期は早かったが、出穂のばらつきが大きく遅穂が多い。
- ・茎数は平年並には確保されているが、遅穂発生や施肥むら等による生育不揃いにより、収穫期の判断が困難になることが懸念される。
- ・穂ばらみ期以降の低温遭遇の影響で不稔粒の発生がみられるが、10%未満。
- ・一部のほ場で部分的に倒伏が見られるが、その状態は軽微である。
- ・暖冬の影響で、一部で網斑病の発生や、雑草の発生が多いほ場が見られる。

2 小麦

- ・南部町の11月9日播種のミナミノカオリの開花期は4月16日、11月19日播種のチクゴイヅミの出穂期は4月4日、開花期は4月19日であった。

III 技術対策

本県産麦の最重要課題は高品質化である。そのための最終作業である収穫・調製作業については、降雨等の気象情報に注意し、収穫作業が円滑に進むよう、事前にコンバインの整備やカラスノエンドウ等混入時の選別が難しい雑草の抜き取り等の準備を行っておく。

1 収穫

11月上旬播種の大麦収穫適期目安(令和2年産収穫適期目安を参照のこと)

令和2年5月11日現在

品種	産年	出穂期	出穂期～ 成熟期日数	出穂期～ 成熟期積算 気温	成熟期目安	収穫適期目安
		月日	日	℃	月日	月日
二条大麦 (しゅんれい)	過去9年平均	4月10日	45	756	5月25日	6月3日 ～ 6月5日
	令和2年産	3月21日	56		5月16日 ～ 5月16日	5月25日 ～ 5月27日

注1) 令和2年産の成熟期は過去平均の登熟期間と出穂期～成熟期積算気温の過去平均から推定した。

注2) 積算気温は出穂期を起算日とし、5/12以降の平均気温は過去9年平均並および+0.5℃で算定した。

注3) 収穫適期目安は二条大麦は成熟期+9～11日

(1)刈取適期の判定(収穫適期目安・参考資料参照)

- ・熟色がついて茎葉の青味がとれ、大部分(80%以上)の穂首が90度以上曲がった頃で、適期幅は成熟後3～5日と短いとされているが、平成27年産の中部の実績を基に収穫適期は成熟後9～11日とする。
- ・ビール麦は収穫時に損傷を受けると発芽勢が落ちて品質上問題となるので、子実が硬くなる穀粒水分25%以下の状態で刈り取りを行い、コンバイン扱胴回転数は機種所定の範囲(水稻より下げる)に設定する。

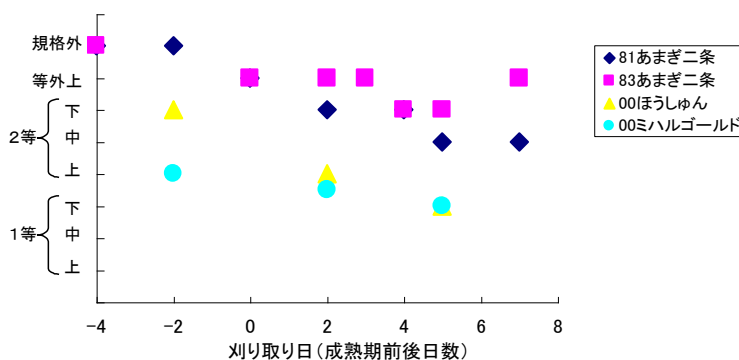


図 ビール麦刈り取り日と検査等級(福岡農総試)

(2)品質低下の防止

- ・刈取適期より早く収穫すると、子実の充実度不足や色浅未熟等により下位等級に格付けされやすくなる。
- ・凸腹粒は成熟期以降の降雨には影響しない。
- ・ほ場による成熟程度のばらつきがある場合、成熟期の異なるほ場を同じ日に刈り取らない。
- ・倒伏の著しいほ場・熟れむらのあるほ場は、他と分けて収穫し、調製施設でも区分して荷受けし、不良品が混ざらないように注意する。
- ・好天が予想される場合は熟れの遅い部分に合わせて収穫する。ただし全体に遅穂が多いような生育の場合は、強勢穂を基準にして遅穂が登熟する前に収穫する。

2 収穫後、乾燥調製まで

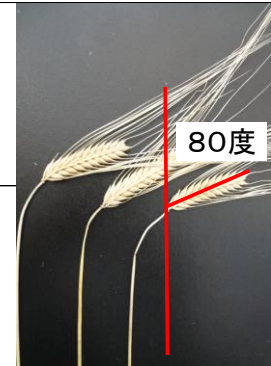
- ・高水分麦は貯蔵中に発芽障害を起こしやすいので、刈取後2時間以内には乾燥施設に張込み、乾燥開始までは常温通風する(ビール麦)。また、刈取当日に必ず乾燥作業を開始する。

【参考資料1】

ビール麦「しゅんれい」の刈取適期表(倉吉農業改良普及所作成)

平成27年産 倉吉農業改良普及所調査データ

		立毛状況	穂の状況	粒の状況	水分 (%)	備考
成熟期 (5/25)					24.9	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首は緑がほぼ抜ける ・穂首の曲がり0度 ・チリメンジワがよっていない粒がある
成熟期 2日後 (5/27)					19.3	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首は緑が抜ける ・穂首の曲がり20～30度 ・チリメンジワが少ない
刈取厳禁 (発芽勢低下)	成熟期 4日後 (5/29)				15.8	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり20～45度 ・チリメンジワが確認できるが、爪で押すと爪跡が残る粒が多い
	成熟期 7日後 (6/1)				18.1 (2日前降雨あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり30～65度 ・穂首の曲がり具合にばらつきがある ・チリメンジワが増え、粒の大半が堅い ・ほ場全体を見ると芒がキラキラ見える
現地の 刈取時期	成熟期 9日後 (6/3)				19.9 (当日降雨あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり60～80度 ・穂首の傾きが概ね揃う ・チリメンジワは多く、粒は全てが堅い ・ほ場全体を見ると芒が目立ちにくくなる
	成熟期 11日後 (6/5)				19.7	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり100度以上 ・チリメンジワは多く、粒は全てが堅い ・芒が概ね見えなくなり、穂首のアーチの頂点が見えるため、ほ場全体が茶色っぽく見える ・やや粒の光沢がなくなる



※調査ほ場 鳥取県倉吉市古川沢

※播種日 2014年11月15日、出穂期 2015年4月14日

※水分は5回計測後の平均値(株式会社ケット科学研究所 米麦水分計ライスタm)

※成熟期11日後の写真のみ諸事情により調査場所が異なる(ほ場は同じ)

【参考資料2】

※農作業中の熱中症と農作業事故防止の注意喚起をお願いします。

農作業中の熱中症は、 しっかりした準備で防ぎましょう！




春先から気温が上昇してきます。この時期は身体が暑さに慣れていない状態です。

このため、春先でも農作業中の熱中症が報告されています。しっかりした準備で熱中症を予防しましょう。

1 こんなときに注意

 <p>からだ暑さに馴れていない</p>	 <p>急に暑くなる日 春先でも熱中症が発生しています。</p>	 <p>特にハウス内</p>
---	---	---

2 休憩をこまめにとり、水分を十分補給しましょう

 <p>・農作業の際には、ペットボトルや水筒を携帯しましょう。</p> <p>・おしっこの色で自身の脱水程度を測り、水分補給の目安にしましょう。「おしっこカラーチャート」</p>		<p>たくさん汗をかいた時には、塩分補給も必要です。</p>  <p>1~2gの食塩 1ℓの水</p>
--	---	--

3 帽子の着用や汗を発散しやすい服装で作業しましょう



・直射日光は帽子で防ぐようにします。
・休憩時は、保護具など外すか緩めるなどして、熱を逃がすようにします。

4 農作業後の水分補給も忘れずに



農作業着後、帰宅途中や帰宅後に発症する例も少なくありません。

鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会(愛称:農安協)

問合せ: 鳥取県農林水産部とっとり農業戦略課: 電話 0857-26-7327、JA鳥取県中央会: 電話 0857-21-2607